

時代とハートを動かす

SEIKO

コーポレートレポート 2014-2015

Top Message
グループCEO・社長メッセージ

SEIKOを世界のトップブランドへ押し上げ、
新たな時代を切り拓いてまいります。

1969年、世界初のクォーツ式腕時計「クォーツアストロン」の製品化は時計産業に革命をもたらし、SEIKOブランドを世界に知らしめました。その後、セイコーは、時代に先駆けたウオッチを世に送り出し、その地位を揺るぎないものとしてきました。そして今、わたしたちセイコーは、さまざまなビジネスチャンスを生かし、SEIKOを世界のトップブランドへ押し上げ、さらなる飛躍を目指してまいります。世界初のGPSソーラーウオッチ「セイコー アストロン」で世界のデファクトスタンダード(事実上の標準)を獲得し、グローバルマーケットで圧倒的な存在感を示すとともに、時計以外の分野においても革新的な商品・サービスを創造してまいります。「常に時代の一步先を行く」という創業からの強い志と、このたび制定しました「時代とハートを動かす」というスローガンを胸に、セイコーは新たな時代を切り拓いてまいります。

セイコーホールディングス株式会社
代表取締役会長兼グループCEO

服部 真二

社員が働きやすく、十分に能力を発揮できる
職場づくりを進めてまいります。

2013年4月にスタートした第5次中期経営計画は順調に滑り出し、初年度である2014年3月期は計画値を上回る増収増益を達成しました。2016年3月期の最終目標に向け、基本方針である「事業収益の最大化」と「経営基盤の質的強化」に引き続き取り組んでまいります。セイコーの事業を支え、成長を生み出す原動力は社員という財産(人財)です。第5次中期経営計画においても、「事業の持続的成長に向けた人財育成やグループ横断的な人財交流の仕組みづくり」をテーマに、さまざまな施策を推進していきます。特に、女性の活躍をより推進するため、女性管理職比率を10%とする目標を掲げ、社内啓発や意識改革、モチベーション向上を目的とした活動を行っています。また、社員の能力開発を支援する階層別研修を実施し、グループ全体の人財育成に力を注いでいます。さらに、育児休業・育児短時間勤務制度、安全衛生管理規則、メンタルヘルス対策などを通じて、誰もが働きやすい健全な職場環境の整備に努めています。

セイコーホールディングス株式会社
代表取締役社長

中村 吉伸



代表取締役社長
中村 吉伸

代表取締役会長兼グループCEO
服部 真二

Contents

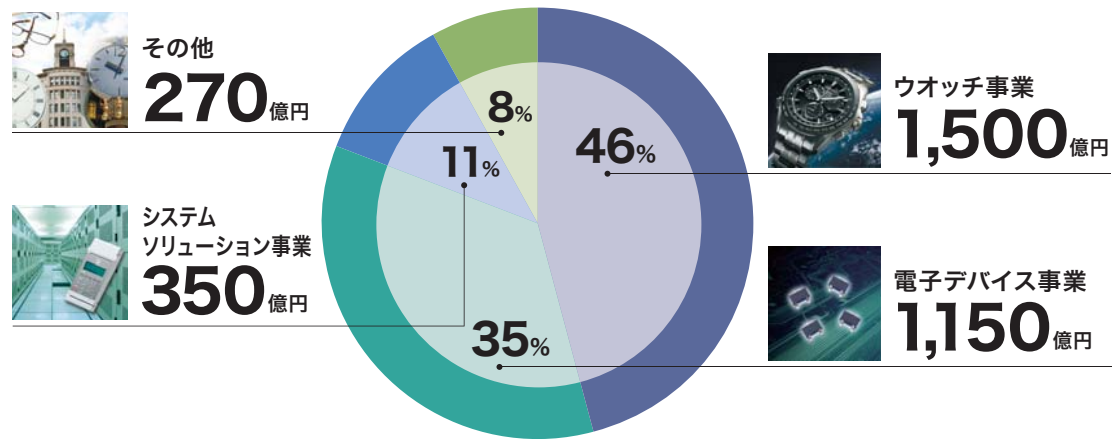
グループCEO・社長メッセージ	1
グループスローガン	3
第5次中期経営計画ハイライト	4
グローバルネットワーク/沿革	5
わたしたちの身の回りで活躍するセイコーの製品・サービス	7
特集 社会課題の解決に貢献するセイコーの製品・サービス	8

事業紹介	13
ウオッチ事業	13
電子デバイス事業	15
システムソリューション事業	17
その他	19
セイコーホールディングス株式会社	21

セイコーホールディングスグループのCSR	22
コーポレート・ガバナンス	23
お客さまとともに	25
お取引先とともに	26
社員とともに	27
地域・社会とともに	29

東日本大震災復興支援活動	31
株主・投資家とともに	32
環境保全の課題解決に向けて	33

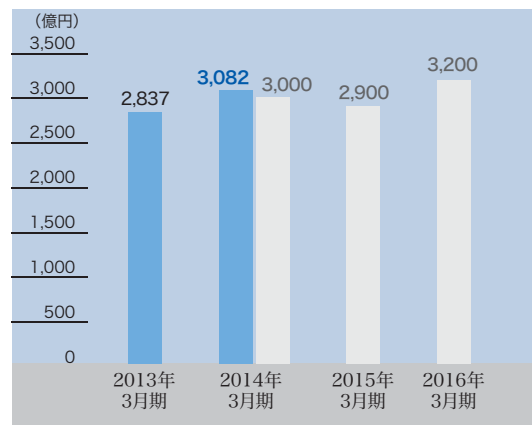
2016年3月期 セグメント別売上高目標数値



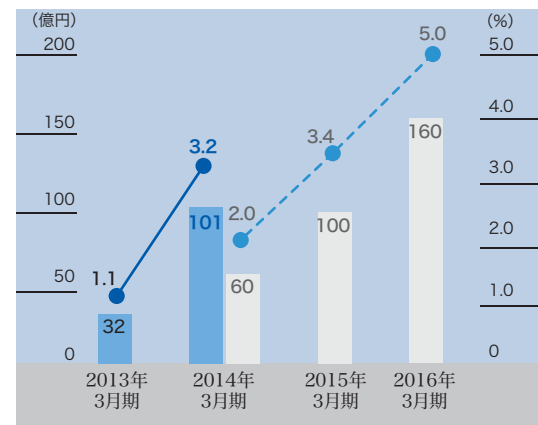
※円グラフの売上高目標数値・比率は、各事業間の内部売上高または振替高調整前の数値に基づいて算出しています。

第5次中期経営計画の初年度である2014年3月期の連結売上高は、前期の第4四半期に行った科学機器事業売却の影響という減収要因があったものの、前期より244億円増加し、3,082億円となりました。事業別では、ウォッチ事業は国内・海外で順調に売上を伸ばし、電子デバイス事業も半導体を中心に回復しました。利益面では、営業利益はウォッチ事業を中心に大きく伸び、対前期比84億円増の140億円となりました。また、経常利益は前期を69億円上回る101億円となりました。

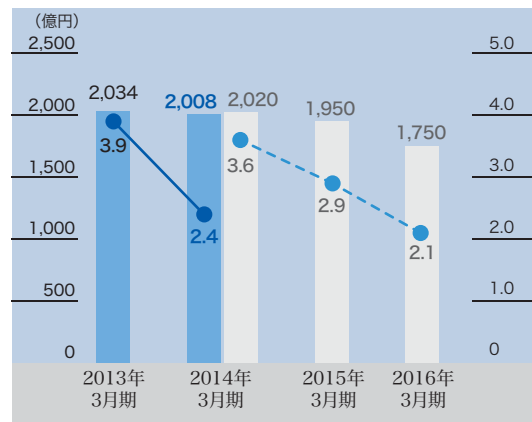
連結売上高



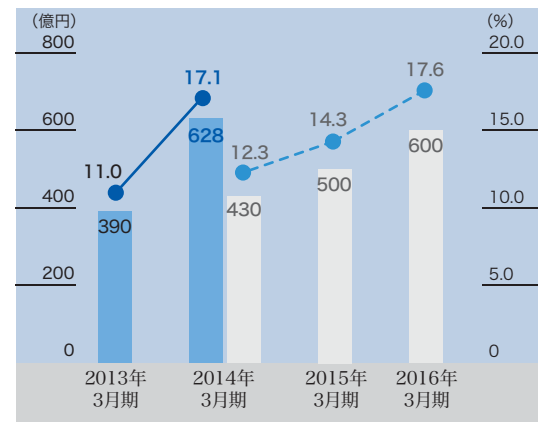
連結経常利益／経常利益率



連結有利子負債／ネットD/Eレシオ*



連結自己資本／自己資本比率



※負債資本倍率

■実績 ●計画

第5次中期経営計画ハイライト
(2014年3月期～2016年3月期)



グループスローガン

時代とハートを動かす
SEIKO

セイコーは、創業以来「常に時代の一步先を行く」という経営姿勢を貫き、革新を続けてきました。

この創業からの思いと、「お客さまの感性に訴えたい」という新たな思いを込め、

わかりやすく表現した企業スローガンを制定しました。

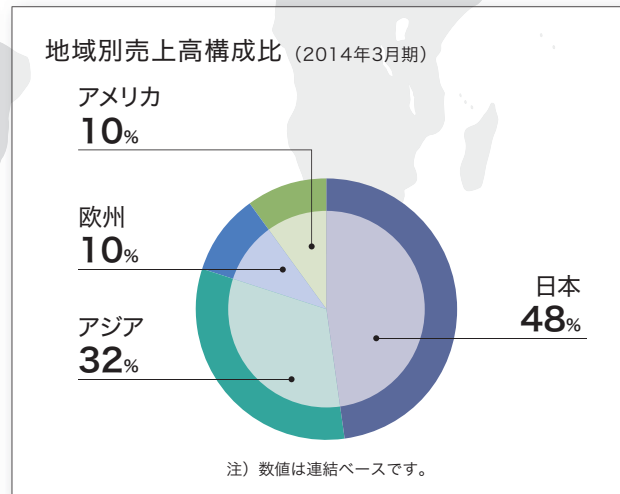
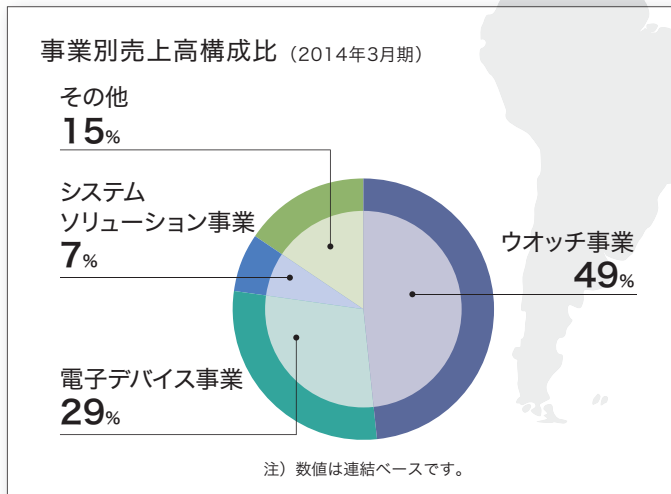
時代を牽引してきた技術力と感性で、これからも未来を創造していくという

セイコーの熱い意志と躍動感を伝えていきます。

このグループスローガンには、130年を超える歴史のなかで築き上げた大きな信頼を大切にしながら、次代を切り拓いていく感性とチャレンジ精神で、ワクワク、ドキドキするような時代をお客さまと分かち合いたいという願いが込められています。わたしたちは、これまで以上にお客さまの声に耳を傾け、技術と品質の向上に努めることで、お客さまの心と深く響きあえる素晴らしい関係をつくりあげたいと考えています。これからのセイコーにどうぞご期待ください。

セイコーホールディングス株式会社
代表取締役会長兼グループCEO
服部 真二





セイコーホールディングス株式会社 企業概要

創業 1881年(明治14年)

資本金 100億円

従業員数 112名(2014年3月31日現在)
13,439名(2014年3月31日現在連結)

売上高 108億円(2014年3月期)
3,082億円(2014年3月期連結)

事業の内容 ウォッチ、電子デバイス、システムソリューション、クロック、高級宝飾・服飾・雑貨、設備時計などを扱う事業会社の連結経営管理

本社所在地 〒105-8505
東京都港区虎ノ門2丁目8-10
TEL:03-6739-3111(代表)

セイコーの歩み



確かな技術で、暮らしと産業を支えています。



目ざまし時計

ランナーズウオッチ「PROSPEXスーパーランナーズ」

スポーツ計時計測機器

エネルギー監視・制御システム
特集-P8

船舶用時計

通信基地局用発振器IC

GPSソーラーウオッチ「セイコーアストロン」

衛星電波クロック「セイコースペースリンク」

時刻認証「サイバータイム」
特集-P9

放送局用標準時計装置
特集-P10

銀座・和光時計塔

マルチ電子決済サービス

オーダーエントリーシステム

アウトドアクロック

駅用クロック

カメラ用シャッター

ジュエリー

小型サーマルプリンタ

車載用IC、精密加工部品
P11 特集

「タイムサーバ」
P9 特集

大型インクジェットプリンタ

無線時計システム「タイムリンクプロ」

セキュリティ用センサ

眼鏡レンズ、フレーム

スマートデバイス用IC、電池、水晶振動子

建物内の「見える化」で、
環境にやさしく、
快適で安全な空間をつくる。

原発事故や国際紛争などを背景に、エネルギー情勢の不安定さが続いています。また、固定価格買い取り制度や化石燃料の輸入増加などが、電力料金を押し上げています。省エネは、企業にとっては避けられない経営課題のひとつとして重みを一段と増しつつあります。

その課題解決に役立つと注目を集めているのが、「見える化」です。エネルギーの消費は目に見えないだけに、どこどの程度のエネルギーを消費しているのか、実態を把握しないことには、データに基づく確かな対策は打てません。「見える化」は、対策立案の大前提です。

セイコーソリューションズ(株)では、手軽に導入し、便利に運用できる、そして将来への対応も万全なシステムのご提供を通して、「見える化」の推進をお手伝いします。

世界基準に準拠した
正確な時刻管理で、
電子取引の信頼性を高める。

社会におけるIT化の進展には目を見張るものがあります。転機は2001年、IT書面一括法と電子署名法が施行されたことで、官民の商取引で電子入札・契約などが可能になり、業務の省力化・効率化や書類保管スペースの削減などが図られつつあります。

そこで、重要な意味をもつようになったのが、情報システムにおける正確な時刻です。時刻が正確でないと、取引の信ぴょう性が問われます。トラブル発生時に取引履歴をたどれなければ、原因を究明できません。電子商取引という経済活動におけるリスクを正確な時刻が低減するのです。

セイコーソリューションズ(株)では、標準時刻の配信、正確な時刻の監査・認証を行う各種の機器とサービスをご提供することで、IT社会における信頼性向上に貢献します。



BUILTALK-HX/LX

総合ビル管理システム
受変電、空調、セキュリティ、防災といった各種ビル設備の稼働状況を「見える化」。集中管理・制御するワンパッケージのビル管理システム。

GreenTALK
エネルギー監視・制御ソリューション
グリーントーク

エネルギー消費はもちろん、環境情報や稼働情報も一元化。計測、記録、見える化、対策立案の省エネサイクルを効率良く回すのに最適なシステム。

ミスタ省エネ 無線センサネットワーク

各種センサでエネルギー消費を「見える化」。障害物に強い周波数帯で利用できる無線システムにより、大がかりな工事なしに手軽な導入が可能。

Time Server



標準時刻との同期を高い精度とセキュリティで可能にし、時刻の正確さと信頼性を高めるサーバ。取引の履歴を正確にたどることは、トラブル発生時の原因究明にも役立つ。

一般財団法人 日本データ通信協会の「タイムビジネス信頼・安心認定制度」で認定された時刻配信サービス、タイムスタンプサービスにより、電子商取引などの成立証明、貴重なデジタルデータの保護を支援。



事務作業の負担軽減を支援する電子契約サービスでは、システムの信頼性確保がポイントとなります。

当社は、パソコン上で産業廃棄物処理委託契約を締結できる電子契約サービスを提供しています。建設工事案件ごとに複数の事業者と交わす、複雑な事務作業の負担を軽減するもので、省力化やコストダウンに加え、システムの運用性やデータの非改ざん性といった信頼性がポイントとなります。セイコーのデジタルエビデンス・ソリューションは、使い勝手が良く、クラウドを活用した検証などで取引の履歴を正確に証明し、貴重なデジタルデータを保護するのに非常に役立っています。

株式会社イーリバースドットコム
取締役 経営企画部長 芥田 充弘氏 (所属は取材時点)



省エネ改善を継続的に推進するために、「見える化」できる仕組みが必要でした。

2011年6月から、「GreenTALK(グリーントーク)」を電力集計システムや省エネ改善の効果測定ツールとして活用しています。2008年から取り組んできた省エネ活動の成果をさらに高めるため、電力メーターを毎月検針する方式からリアルタイムに「見える化」を図る方式への切り替えを決めたのが、導入のきっかけです。「見える化」によって、省エネ改善のPDCAサイクルを効率良く回すことができるようになったうえ、従業員の省エネ意識の向上にも役立っています。

日本発条株式会社 DDS事業本部 駒ヶ根工場
生産技術課 春日 昇氏 総務課 森本 桂一氏 (所属は取材時点)

情報をリアルタイムに伝える放送メディアの多様化が進んでいます。テレビでは、デジタル地上波に加え、放送衛星(BS)や通信衛星(CS)が活用されています。放送メディアの情報送出業務は24時間365日、休みとがありません。

途切れなく電波を送り続ける放送メディアにとっては、正確な時刻が不可欠です。さらに、デジタル化やネットワーク化によって、これまで以上に時刻の精度の高さが求められています。

テレビ放送の草創期から、セイコーはクォーツ時計の開発で培った正確で精工な技術力をベースに、放送局用標準時計システムを開発。放送メディア各社に、それぞれのご要望に合わせて供給してきました。放送メディアの新たな動向を読む対応力の高さで、正確性と信頼性をさらに高めています。

いつでも、どこでも、
どんなときも、
正確できめ細かい
番組配信を見守り続ける。



クルマの機能をフルに発揮させる
半導体技術で、
モータリゼーションの
進化を支える。

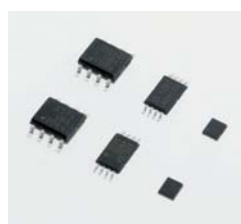
生活や産業に不可欠の社会インフラである自動車や、電子機器へと進化しつつあります。安全性、快適性、省エネ性の向上や、情報化への対応など、社会の要求に応えるため、機械制御から電子制御へ移行しているからです。電気自動車や燃料電池車の普及を前に、その流れはますます加速していくでしょう。

その電子制御の中核部品として機能するのが、車載用半導体です。高温で振動がある過酷な環境下で安定した性能を発揮する信頼度の高さが欠かせません。メーカー各社が燃費向上にしのぎを削るなか、消費電流の低さが求められます。

セイコーインスツル(株)では、時計用半導体技術の核である「低消費電流技術」を究め、製品群の拡充を図るなど、車載用半導体のご提供を通じ、「自動車の進化」を支援します。

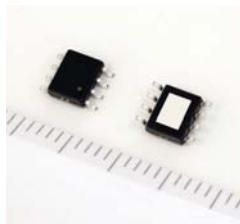
車載用EEPROM

電源を落としても書き込まれたデータをそのまま保持できるメモリ。走行系、安全系、快適・ボディ制御系など、車載電装機器に広く使用できる。



車載用ボルテージレギュレータ

マイコンの動作を外部から監視し、故障を検出することで安全を確保できる電源IC。電源回路の低消費電力化、安定動作、信頼性向上に貢献する。



放送局用標準時計装置

日本標準時に同期した放送局内の親時計。時刻信号を出力し、放送局内の機器や子時計に正確な時刻を供給する。



放送局用子時計

親時計の正確な時刻に自動で合わせる機能をもつ子時計。指針位置を検出するセンサと親時計からの時刻信号を比べ、時刻のズレを正す。



自動車メーカー各社が燃費向上を目指すなか、低消費電流の半導体は重要です。

カーオーディオやカーナビなど車に楽しみや利便性を提供する製品や、エアバッグに代表される車の安全性を高める製品などを製造し、内外の自動車メーカーに納めています。そこにセイコー製の車載用半導体を採用しているのは、低消費電流という性能の良さや国内メーカーとしての安心感からです。メーカー各社が燃費向上を目指し、消費電力を少しでも落とそうとする時代だけに、低消費は重要です。わたしたち顧客の声を次の製品開発に生かそうとする姿勢に、今後も期待をかけています。

三菱電機株式会社 三田製作所



24時間365日安定した番組配信を行うために、正確な時刻を供給する装置が不可欠です。

放送局内の時刻分配と、放送機器をミリ秒単位の精度で制御する放送用コンピュータの時刻合わせに、セイコーの標準時計装置を使っています。TBSの放送開始から60年を越えて一度も止まることなく、放送を支え続けることができています。現在の装置は5世代目で、通常はテレフォンJYJYを利用して時刻を補正していますが、災害時など電話回線を利用できない場合に備え、GPSを利用したバックアップ補正システムも採用しています。正確な時刻を供給する装置として、放送局にとってなくてはならないものです。

株式会社TBSテレビ
技術局 CG部 同局 放送設備計画部 同局 放送設備計画部
部次長 山口 彰氏 赤石 精一氏 部次長 斉藤 勇喜氏 (所属は取材時点)



服部会長兼グループCEOより、今年の注力商品についてプレゼンテーションを行う。

ウオッチ事業

ウオッチをはじめ、電子デバイス、システムソリューションの3事業を軸に、さまざまな事業を展開しています。グループ各社が連携しながら、さらなる飛躍を目指します。

すべての主要部品を自社で製造する世界でも数少ない「マニファクチュール」として、ウオッチ業界におけるリーディングカンパニーを目指します。

腕時計に新たな革命をもたらす
世界初のGPSソーラーウオッチ



世界初GPSソーラーウオッチ「セイコー アストロン」

2012年、世界のタイムゾーンに対応し、簡単な操作で、地球上のさまざまな場所での正確な時を知ることができる、世界初のGPSソーラーウオッチ「セイコーアストロン」を発売しました。かつて、セイコーは世界初のクォーツウオッチ「クォーツアストロン」で腕時計の世界に革命をもたらしました。これに続く第二の革命と位置づける「セイコーアストロン」は、発売以来、世界中から非常に高い評価を得ており、既存の腕時計の概念を覆す新たな腕時計のスタンダードとなることを目指しています。

匠の技と先進技術で生み出される
高級機械式腕時計



雫石高級時計工房(岩手県)

2004年、高級機械式腕時計の需要の高まりに迎え、岩手県に「雫石高級時計工房」を設立しました。高級機械式腕時計を専門に、部品製造から完成品の組み立てまでを一貫して行う日本有数の工房です。この工房を核として、高精度を支えるミクロン単位でのぜんまい調整、厚み1.98mmの極薄ムーブメントの組み立て、繊細で優美な彫金などの匠の技と、新合金や最先端金属成型技術による部品製造などの先進技術の融合により、「グランドセイコー」と「クレドール」ブランドの最高品質の機械式腕時計をつくっています。

お客さまのニーズに応える
幅広いブランドマーケティング

多様化が進むお客さまのニーズに応えるため、SEIKOを中心に国内外で幅広いブランドマーケティングを行っています。実用時計の最高峰「グランドセイコー」をグローバルに展開するほか、国産最高級ブランド「クレドール」、自分らしく生きる女性のための「セイコールキア」など、個性豊かなプロダクトブランドで、さまざまなライフスタイルに合った腕時計を提供しています。また、世界的に成長を続けるファッション・スポーツウオッチ市場に向け、2013年7月にグループ内の同分野事業を統合した新会社を設立し、市場シェア拡大を図っています。



グランドセイコー

セイコー ルキア

Watches

TOPICS

世界最大のウオッチとジュエリーのトレードフェア「バーゼルワールド」に出展。「セイコー アストロン」第二世代モデル、「グランドセイコー」の新キャリアなどの新商品を通じ、60以上の国・地域から訪れた販売パートナーやメディアに、セイコーのさらなる進化を伝えた。

- 出展企業40か国・1,500社。来場者15万人。
- セイコーは1986年から毎年出展。
- 初日のプレスカンファレンスは400人の来場者で満席。



セイコーが誇る匠の技を、時計の組立・調整、彫金のデモンストレーションで見せる。

主な事業会社

- セイコーウオッチ株式会社
- セイコーインスツル株式会社

セイコーでは
はたらく人



セイコーウオッチ株式会社
宣伝販促部

森 俊江

バーゼルワールドにはこれまで3回参加していますが、世界中からSEIKOのウオッチを求めてやってくる人たちの熱気に毎回圧倒されます。そこでは、英語だけでなくさまざまな言語が飛びかき、わたしが海外向け広告宣伝を担当するレイスイウオッチについて、貴重なご意見をいただくこともあります。まさにグローバルマーケットの縮図を見ているようです。こうしたコミュニケーションの機会を通じて得られた情報を、世界中の人たちの心に響く広告表現に生かしていきたいと考えています。



Electronic Devices

TOPICS

電子デバイス事業のひとつ「インクジェットプリントヘッド事業」は、タイルなどの建材印刷やテキスタイル捺染印刷などの分野に用途が拡大、市場が急成長している。腕時計の開発・製造で培ってきた精密加工技術をもとに高性能のインクジェットプリントヘッドを開発。広告看板産業をはじめ、建材産業やアパレル産業の生産性と品質の向上に貢献している。

- セイコーならではの精密加工技術が実現する高い信頼性。
- 用途ごとのインク評価など、幅広い市場要求に応える細やかな技術サポート。
- 大手プリンタメーカーによる継続的な採用で、グローバル市場で安定した実績。

事業紹介

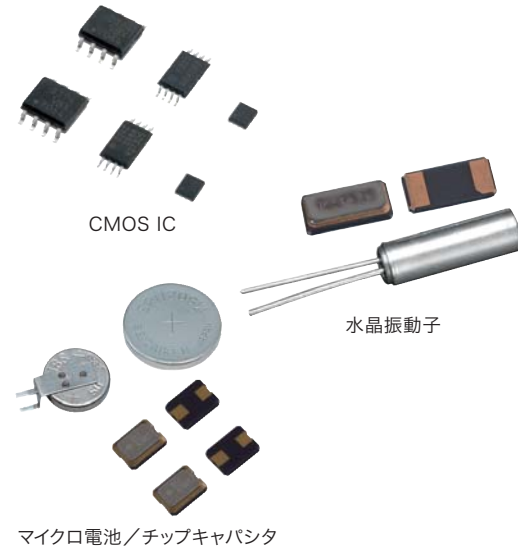
電子デバイス事業

精密加工技術、小型・省電力技術などで、高度化する社会と産業をサポートします。

電子部品

— 小型化、低消費電力化、高機能化を実現

クオーツウオッチ開発から生まれた電子部品は、スマートフォンやデジタル家電、自動車、産業用機器などの分野で幅広く活躍しています。CMOS ICや水晶振動子は小型、低電圧駆動、低消費電力、高精度で機器の小型化、高機能化、駆動時間の長時間化に貢献。なかでも、CMOS ICは、厳しい環境下での安定動作が求められる車載用にも多く採用され、その実力が高く評価されています。また、水晶発振器用ICは世界シェアナンバーワンを誇ります。



CMOS IC
水晶振動子
マイクロ電池/チップキャパシタ

プリンタ

— 確かな技術力で高まる安心感、極まる生産性

感熱紙に熱を加えて印字するサーマルプリンタメカニズムは、POSレジや決済端末、医療・計測機器などで多く利用されています。屋外看板やポスター印刷用の大型インクジェットプリンタは、高生産性と高画質の両立、使いやすさ、環境への対応を実現し、お客さまの業務を支援します。また、プリンタの基幹部品であるインクジェットプリントヘッドは、新興国市場を中心に、建材印刷用や、捺染用など産業用インクジェットプリンタへの採用が拡大しています。



ワイドフォーマットインクジェットプリンタ

サーマルプリンタメカニズム

インクジェットプリントヘッド

メカトロ

— 社会を支える精密加工技術

時計製造を通じて育まれた精密加工技術を生かし、HDD、医療、カメラ、モーター、携帯電話など、さまざまな分野で使用される精密切削部品を提供。また、ABSブレイキ部品やエンジン・トランスミッション部品などの自動車用部品や、デジタルカメラ用シャッタの製造も手がけています。さらに、金属加工の現場で培われたノウハウを凝縮した工作機械は自動車部品メーカーなどで多数採用され、高精度のモノづくりにも実力を発揮しています。



デジタルカメラ用シャッタ

自動車用精密加工部品

内面研削盤

半導体はウソをつかない製品です。それだけに、わたしたちは数多くのテストを行い、統計的な視点からデータを記録・蓄積・分析して精度の向上に努めています。特に、人の命にかかわる車載用半導体では、より高い精度が求められます。自分の可能性を信じ、常に社内、業界、世の中の動きなどから刺激を受けて技術力を磨き、世界一の精度をもつ半導体の開発を目指していきたいです。



セイコーでは
はたらく人

セイコーインスツル株式会社
半導体事業部
島崎 洗一

主な事業会社

- セイコーインスツル株式会社
- セイコープレジジョン株式会社
- セイコーNPCC株式会社



事業紹介

システムソリューション事業

ハード、アプリケーション、データセンターの複合サービスで、付加価値の高いソリューションを提供します。

システムインテグレーション

顧客市場に密着した対応で、ICTソリューションをトータルに提供

総合ビル管理システムをはじめ、省エネを実現するエネルギー管理システム、外食店舗オペレーションをサポートするレストランオーダーリングシステム、デジタル情報に電子署名とタイムスタンプを付与するデジタルエビデンスソリューションなどを提供。お客さまに密着し、市場のニーズを深掘りしたソリューションを提案します。

電力に留まらない総合管理を実現する
エネルギー監視・制御ソリューション

GreenTALK
グリーントーク

エネルギー監視・制御ソリューション
「GreenTALK」

SEIKO Cyber Time
2006/06/10 10:08:53
タイムスタンプサービス

いつでも
どこでも

レストランオーダーリングシステム
「MONSTERA」



決済ソリューション
—お客さま視点で決済ニーズに応え、端末からサービスまで一貫してサポート—
お客さまにとって最適な決済ソリューションをトータルに提供しています。非接触IC用端

末の開発から、企業間の電子商取引を支える決済パッケージソフトの販売、タクシーや訪問販売における無線カード決済サービス「CREPICO(クレピコ)」を提供。さらに情報処理センターの運用まで一貫してサポートします。

タクシー向け
決済端末

非接触IC決済端末

ROS³ **CAPS**
L-CRIP

決済ビジネス 各種サービス

ネットワークソリューション
—時刻同期やレガシー通信など、つなぐ技術を極めた製品で信頼と安心を生む

ネットワーク上のマシンに標準時刻を高精度に配信する「タイムサーバ」、既存のレガシー通信に対応しシームレスな情報の一元化を図るマルチプロトコルコンバータ「USTシリーズ」、イーサネット上で確実に通信するための各種ネットワーク機器など、信頼性と安定性の高い自社開発製品を提供。情報と情報を快適につなぐ、新たな価値を提案します。

モバイルソリューション
—M2M市場をリードするモバイルソリューションベンダーを目指す

長年培ってきた無線技術と小型化技術を駆使し、M2M市場における先駆的な製品を提供しています。国内初のLTE3バンドに対応したM2M通信モジュールや通信モジュール組み込み機器を軸に、運用サービスまで拡大。さまざまな業種の課題解決を図る、モバイルソリューションベンダーを目指します。

PHS端末

スマート体組成計

「ミスター省エネ」
温・湿・照度ノード

マルチプロトコルコンバータ
USTシリーズ

Netwiser ロードバランサ

タイムサーバ

コンソールサーバ SmartCS



Systems Solutions

TOPICS

2014年7月、セイコーソリューションズ(株)は、セイコーインスツル(株)のシステムアプリケーション事業を統合。これにより、スピード感をもってお客さまにより良いソリューションを提供する体制が整った。

- 「つなぐ」ことで価値を創造する」をDNAに。
- お客さまも社員も笑顔でいられる「スマイルソリューションパートナー」をスローガンに。



主な事業会社

セイコーソリューションズ株式会社

セイコーでは
はたらく人



セイコーソリューションズ株式会社
システムインテグレーション統括部 守谷 康

わたしの所属するシステムインテグレーション統括部は、世の中にある製品や技術を組み合わせ、システムとしてお客さまに提案することを本業としています。経営統合によるシナジー成果がもつとも期待される部署です。現在担当している「GreenTALK(グリーントーク)」は、セイコーが保有する無線センサネットワーク技術を組み合わせ、環境の「見える化」をサポートするユニークな製品として開発したものです。今後は違う分野の人たちと組んで、もっとユニークな世の中を変えるような製品をつくっていききたいですね。



事業紹介

その他

クロック、小売、システムクロック／スポーツ機器、眼鏡など、幅広い事業領域で社会に貢献しています。

■クロック
掛時計の製造開始より120年、常に時代をリードするクロックを提供してきました。企画・開発・製造から販売・アフターサービスまでを一貫して行うクロックのトータルカンパニーとして、伝統に支えられた高い品質とモノづくりの技、先進技術の融合により、幅広い商品ラインアップを誇ります。

■衛星電波クロック「セイコースペースリンク」

2014年、GPS衛星からの時刻情報を受信し自動的に表示時刻を修正する、衛星電波クロックを家庭用としては世界で初めて発売しました。標準電波を利用する従来の電波時計に比べ、屋内でも受信可能な範囲が大幅に広がり、受信スピードも最短10秒と大幅に短縮されました。GPS衛星の信号を受信できる場所であれば、国や地域にかかわらず正確な時刻表示を実現する、まさに進化した電波時計といえます。



世界初の家庭向け衛星電波クロック「セイコースペースリンク」

主な事業会社

セイコークロック株式会社

■小売

おもてなしの心でお客さまに接する
銀座の高級専門店

銀座を代表する高級専門店・和光では、時計をはじめ、宝飾品、紳士・婦人用品、室内装飾品、食品など、お客さまの声を取り入れて独自に開発した、あるいは国内外から厳しい目で選び抜いた、高い品質を誇る商品を幅広く取り揃え、質の高いサービスを提供しています。また、銀座の街を見守る和光の時計塔は2014年に竣工82年を迎え、この間、銀座のシンボルとして多くの人々に愛されてきました。これからも、長い歴史と伝統のなかで培ってきた上質へのこだわりとおもてなしの精神で、お客さまとの信頼関係を大切にしていきたいです。



和光本館

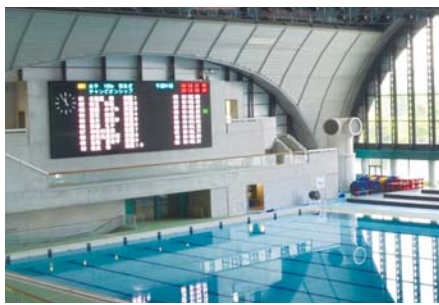
主な事業会社

株式会社和光

■システムクロック／スポーツ機器

公共の空間やスポーツシーンで活躍

学校・病院などの公共施設で使われる設備時計、街を彩るからくり時計、放送局用時計などの専門的な時計から、10000分の1秒までの計測可能なスポーツ計測機器、競技データ処理システムおよび各種大型表示盤やスコアボードなど、システムクロックやスポーツ機器の企画・開発から製造・販売、アフターサービスにいたるまで総合的に行っています。また、国際大会などで培われた豊富な経験と、高度な技術力をベースに、各種スポーツ大会の計時支援活動も積極的に展開しています。



東京辰巳国際水泳場の大型表示盤

主な事業会社

セイコータイムシステム株式会社

Others

TOPICS

GPS衛星に搭載された原子時計の時刻情報を受信することで、世界中どこでも常に正確な時刻を表示する、世界初の家庭向け衛星電波クロック「セイコースペースリンク」を発売。鉄筋のビルを含むほとんどの建物内で正常に受信でき、家電製品や電子機器から発生するノイズの影響を受けにくいのが特長。

- 原子時計の誤差は10万年に1秒。
- その国の標準時にセットすれば世界中で使用可能。
- 建物の開口部から電波が届く距離は平均で15m。



セイコーではたらく人



セイコータイムシステム株式会社
セイコータイミンング部

相澤 洋平

初めての大会や新機材を使ったスポーツ計時など、新しいことにチャレンジすることにやりがいを感じます。ときには、準備段階で試行錯誤が続ぎ、予期しないトラブルが発生することもありますが、セイコーには1964年の東京オリンピック以来、国際的なスポーツ競技の公式計時を50年にわたって務めてきた実績があります。積み重ねてきた成功事例を生かしながら、さまざまなことにチャレンジしています。これからもスポーツ界に欠かせない企業として、大きな責任を果たしていきたいと思っています。

■眼鏡

90年以上の歴史を誇る眼鏡事業。メガネレンズ・フレームの企画から販売までを行っています。レンズとフレーム双方を扱う世界的にも数少ない会社として、最高、最適なパフォーマンスを実現するメガネ「EYEWEAR THAT PERFORMS」の提案により、「メガネはセイコー」の浸透を目指します。

■幅広いラインアップが揃う

セイコーの高付加価値商品

1997年に世界初の遠近両用ティラーメイドレンズを発売して以来、セイコーは一人ひとりの「お客さま仕様」を目指したレンズ開発を推進。「スペリオールPX」を筆頭に、遠近両用レンズ「パシユートシリーズ」も充実しています。フレームは常に、品質、デザイン、掛け心地を追求。メンズコレクション「プレザージュ」をはじめ洗練されたデザインと柔らかな掛け心地の新レディースコレクション「ルネ・ドウ」が加わり、掛けた方のスタイリッシュな表情を演出する豊富なラインアップが揃いました。



「メガネはセイコー」の新広告

主な事業会社

セイコーオプティカルプロダクツ株式会社



事業紹介

セイコーホールディングス株式会社

グループの持株会社として、連結経営管理、財務・知財管理、グループ広報、株主や投資家の方々に向けたIR活動などを担当。一人ひとりが有する専門知識を生かして、各事業会社が効率的・機動的な経営ができるようサポートしています。

スムーズな連携で相乗効果を高める

グループの持株会社として、連結経営管理、財務・知財管理、グループ広報、株主や投資家の方々に向けたIR活動などを担当。一人ひとりが有する専門知識を生かして、各事業会社が効率的・機動的な経営ができるようサポートしています。

またグループ全体の長期かつ俯瞰的な舵取りを行い、グループの結束力と経営効率を高めるとともに、各社の連携によるシナジー効果の最大化を図っています。

持株会社の役割強化に向けて

第5次中期経営計画では、経営基盤の質的強化を図るための課題として、左記の3つの施策を推進しています。

- 1 グループ経営上の戦略的意思決定の強化
- 2 事業会社サポート機能の強化
- 3 PR、IR、CSR活動の強化とブランド投資の継続

C	S
	R

セイコーホールディングスグループのCSR

グループ経営の基本理念を「社会に信頼される会社であること」と定め、「確かな品質」こそがセイコーとお客さまをつなぐ最良のコミュニケーションであることを社員一人ひとりが心に刻み、CSR活動を推進しています。

基本理念
社会に信頼される会社であること

- 常にお客さま本位の姿勢を大切に、質の高い商品・サービスを提供します。
- お客さまに育てられた「SEIKO」ブランドの価値をさらに高めます。
- 経営の透明性・公正性を一層高め、環境への配慮に努めます。

基本理念

CSR活動指針

CSR活動指針

1. 事業を行う国や地域の法律やルールを遵守し、社会倫理に照らし、公正な活動をいたします。
2. 良識ある「市民としての企業」を目指して、社会との調和を図ります。
3. 情報は適切に公表し、誠実で、透明性の高いコミュニケーションを目指します。
4. かけがえない地球を大切に、環境保護に貢献します。
5. 基本的人権や人格を尊重し、企業倫理の精神を育む、視野の広い企業風土をつくります。

(CSR活動指針は「企業倫理の基本理念」に則って設定しています)

CSR活動報告の概要



CSR編集方針

- 読みやすくするために文章を簡潔にし、ビジュアルも大きくして内容を把握しやすくしました。

【報告対象範囲と期間】

本レポートは、セイコーホールディングス(株)および各事業会社[※]における2013年度(2013年4月1日から2014年3月31日まで)の活動を中心にご報告しています。
[※]セイコーウオッチ(株)、セイコーインスツル(株)、セイコープレジジョン(株)、セイコーNPC(株)、セイコーソリューションズ(株)、セイコークロック(株)、(株)和光、セイコータイムシステム(株)、セイコーオプティカルプロダクツ(株)の各社です。

【参照ガイドライン】

GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン2013」、環境省「環境報告ガイドライン2012年版」、「環境会計ガイドライン2005年版」、日本経団連「企業行動憲章」

【ウェブサイトとの連携】

本レポートではセイコーホールディングス(株)および各事業会社のCSR活動のエッセンスをお伝えし、ウェブサイトにも同様の情報を掲載しています。内容は随時改訂されますので、最新情報は下記ウェブサイトをご覧ください。
<http://www.seiko.co.jp/csr/index.html>

セイコーの多彩なコミュニケーション活動

お店やモノづくりの現場で、あるいはスポーツや音楽を通じて、多くの皆さまと触れ合うべく、多彩なコミュニケーション活動を行っています。





コーポレート・ガバナンス

グループの基本理念である「社会に信頼される会社であること」を実現するために、法令の遵守、経営の透明性・公正性の確保、社会倫理の尊重を重要な経営課題と位置づけ、その実現に向けたコーポレート・ガバナンスの強化推進に取り組んでいます。

迅速で適切な経営を支える コーポレート・ガバナンス体制

セイコーホールディングス(株)は、持株会社として事業ごとの経営責任の明確化を図るとともに、迅速な経営判断と機動的な施策の実行を通して、経営環境の変化に対応できる組織体制をとっています。

取締役会において常に連結事業会社の状況を把握し、必要に応じて各社より説明を受け、迅速適切な意思決定を行います。また、代表取締役の諮問機関である経営戦略会議においては、業務執行の基本事項を審議し、経営活動を適正迅速に推進することを目指しています。一方、経営協議会は、当社役員と各事業会社の社長で構成され、各事業会社の業務執行状況の把握に努めています。

リスクを予見予防し、被害を最小化

セイコーホールディングス(株)は、リスクの予見予防ならびに危機発生時の被害最小化を図ることを目的に、リスクマネジメント規則を設けています。また、全社的なリスクマネジメントを推進するために、代表取締役を委員長とし、本社部門の委員を中心に構成したリスクマネジメント委員会を設置しています。委員会では、経営に甚大な損失をもたらす恐れのある重要リスクへの対応などについて審議するとともに、さまざまなリスクを識別・共有して活動を進めています。さらに、経営戦略会議での報告や、経営トップによる定期的なレビューを通じて、経営と一体となったリスクマネジメントのPDCAを確実に展開しています。各事業会社とも連携し、これらの活動をグループ全体で推進しています。

情報セキュリティ

グループ各社は、情報システム資産が経営資源として極めて重要であるとの認識に立ち、セイコーホールディングス(株)と同等の情報セキュリティポリシーを適用しています。

セイコーインスツル(株)は、操作ミスや情報管理への理解不足による情報漏洩などを防ぐために、電子メールを利用する全社員を対象とした「GoogleApps利用認定試験制度」を2012年に導入しました。利用資格の有効期限は1年間で、更新試験に合格しなければ、アプリケーションを利用できない決まりとなっています。

セイコーソリューションズ(株)では、情報セキュリティを事業継続の最重要課題とし、「ISO/IEC27001 (ISMS)の認証を得るとともに、情報セキュリティマネジメント体制を構築し、情報資産の保護とリスクの低減、セキュリティの確保に努めています。

災害時、お客さまと社員の安全確保に努める

セイコーホールディングス(株)は、大規模災害発生時に社員一人ひとりが取るべき行動をまとめた災害対策マニュアルの配布、社員と家族の安否を確認するための専用システムの導入、非常時用資材の確保・配布などを行い、社



セイコーインスツル(株) 防災備蓄品

員の安全確保に努めています。セイコーインスツル(株)は、大規模災害発生時の交通遮断による一時的帰宅困難者の発生に備え、国内拠点到水・食料、防寒シート、その他の防災備蓄品を計画的に準備しています。備蓄品は、グループ内拠点間の支援にも有効に活用します。多くのお客さまが訪れる和光本館では、自衛消防隊を組織し、防災設備や避難経路など日常の点検を毎週行い、万一火災や地震が起こった際には、被害を最小限に食い止め、お客さまの安全を確保するよう努めています。



セイコーホールディングス(株) 避難訓練

情報開示の充実と迅速性への配慮

セイコーホールディングスグループ各社は、商品やサービスの最新情報を迅速にお伝えするために、ウェブ

サイトの充実にも努めています。

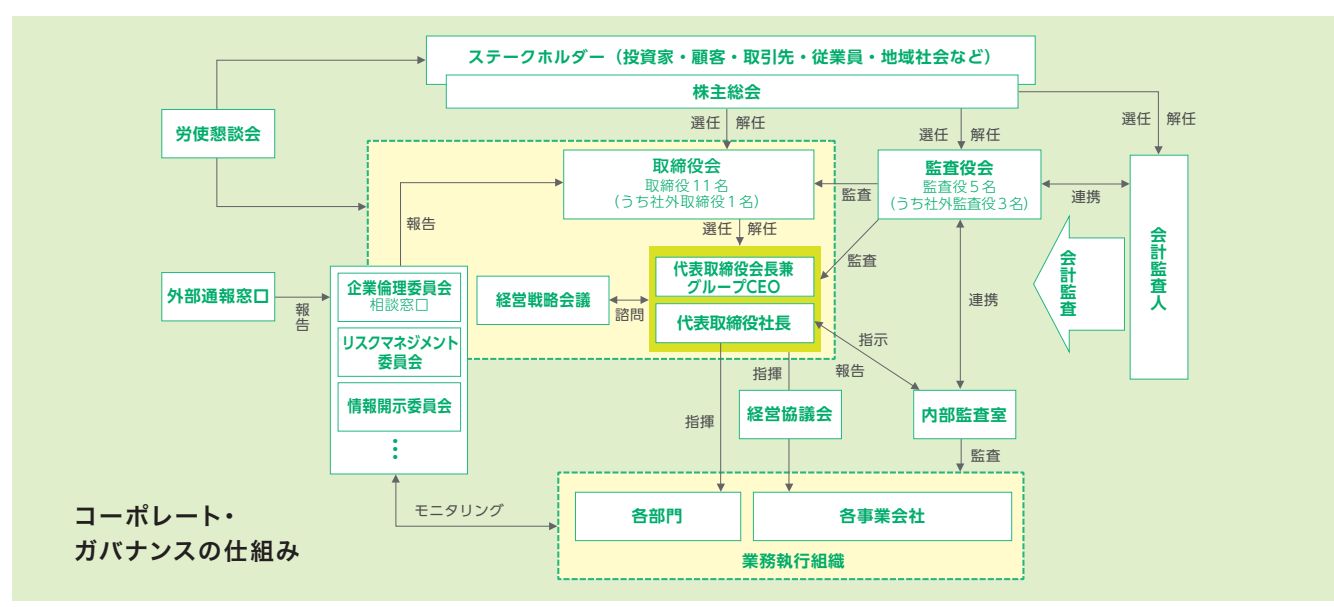
セイコーホールディングス(株)では、株主・投資家の皆さまに対する情報開示のため、四半期ごとに決算説明会を開催するほか、株主さま向け年次報告書とコーポレートレポートを年一回発行しています。

また、ウェブサイトを通過して、商品などに関するプレスリリースや決算説明会資料などの各種開示資料をタイムリーに掲載し、情報発信に努めています。財務データについては、有価証券報告書や決算短信に加え、過去5年分の業績グラフや、ダウンロード可能なエクセルファイルなど、見やすい形に整えた資料を掲載しています。

さらに、個人投資家の皆さまに対しては、株式情報のほか、グループの歩み、各事業の内容、セイコーの強み、業績や経営計画のサマリーについて、ポイントを絞ってわかりやすく解説したページを設け、セイコーについて一層ご理解いただけるよう努めています。



URL <http://www.seiko.co.jp/>





お客さまとともに

お客さまの多様なニーズに一つひとつきめ細かく対応することをカスタマーサービスの基本として、お問い合わせやご相談、ご意見、修理依頼など、お客さまの声やご要望をしっかりと把握し、適切・迅速・公平な対応を心がけ、常にお客さまとの接点の深化を図っています。

商品特性などを考慮した お客さま窓口

セイコーホールディングスグループは、事業会社ごとに商品特性などを考慮したお客さま窓口を設けています。

セイコーウォッチ(株)では、お客様相談室を通じて年間7万4千件ののぼるお客さまの声にお応えするとともに、東京と大阪の窓口において、修理受付をはじめ、買物相談や時計についての情報発信などを行っています。お客さまから寄せられたすべての情報をデータベース化し、迅速に関係部門に送ること



マイクロカメラで拡大してウォッチの修理内容を説明

カスタマーサービスの向上に役立てています。また、セイコーブランド製品の修理をオンラインでも受け付けています。

セイコーロック(株)では、お客様相談室を設置して修理とお問い合わせに対応しています。ときには百年前のクロックが修理品として持ち込まれることもあります。こうした場合でもできる限りお客さまの期待に応えるべく、最善の方策をご提案しています。

セイコーオプティカルプロダクツ(株)では、一般のお客さま専用のお客様相談室と、眼鏡店からの商品・技術についてのお問い合わせに対応するテクニカルサポート窓口を設置しています。お客様相談室に寄せられたご意見や各種情報を収集・分析し、社内ウェブサイトを通じて共有しています。

(株)和光では、お買い上げいただいたウォッチを末永くお使いいただくために、同じ売場内に、修理カウンターとウォッチベルトのコナーを設け、アフターメンテナンスを承っています。

お取引先とともに

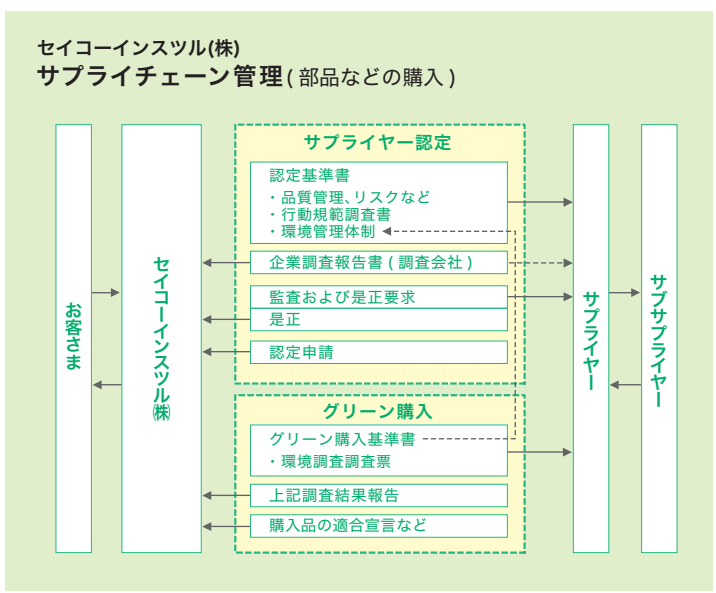
セイコーホールディングスグループの事業活動は、お取引先の皆さまとの協働で成り立っています。より良い協働関係を保つために、関係法令を遵守するとともに、相互信頼を築くように努めています。

適正な購買取引 を行うために

適正な購買取引のためには相互理解と法令遵守が不可欠です。セイコーホールディングス(株)は、企業倫理行動指針において独占禁止法や下請法をはじめとする各種法令を遵守し、適正な購買取引を行うことを事業の基本方針として定め、それぞれの事業会社においても徹底しています。

サプライヤー認定制度

セイコーインスツル(株)は、2004年度よりサプライヤー各社の行動規範管理体制、経営状態、環境管理体などについて調査を行い、一定の基準を満たしたサプライヤーを認定する制度を導入しています。



現在、国内では約1000社を認定し、海外拠点も直接取引しているサプライヤーの9割以上についても認定審査を完了しました(2013年度末)。

さらなる顧客満足向上に向け、 カスタマーサービスを充実

セイコーホールディングスグループは、さらなる顧客満足向上に向け、さまざまな側面からカスタマーサービスの充実を図っています。

セイコーウォッチ(株)では、高級品を末永くご愛用いただきたいという思いから、オーバーホールの際に腕時計の表面の傷を磨いて整える「グランドセイコー・コンプリートサービス」を2012年に開始しました。セイコーNPC(株)では、顧客メーカーに対し、ICの測定手法などの技術者向け技術指導を行うとともに、製造現場での品質アドバイスを通じて歩留まり改善に貢献するなど、お客さまに密着したサービスを展開しています。

セイコーオプティカルプロダクツ(株)では、消費者向けのウェブサイトで「快適視生活応援団」で、お客さまに目とメガネについて、よりわかりやすく情報をお伝えできるよう、当社の商品情報に限らず、目とメガネに関する幅広い情報提供を行っています。



ウェブサイト「快適視生活応援団」

2014年度も引き続き認定率100%を目指していきます。

流通販売店との協働

セイコーの商品が並ぶ店頭で、お客さまに商品の魅力・特性を正しくお伝えしていくために、流通販売店との間で商品についての正しい認識を共有する取り組みを進めています。

各事業会社では、提案会、展示会、技術講習会、店頭訪問などを行い、流通販売店との協働関係の構築に努めています。店舗の業態・規模などに応じた宣伝・販売促進計画、店頭ディスプレイを提案するなど、販売に結びつく店頭づくりをサポートしています。

セイコーウォッチ(株)は、流通販売店との重要なコミュニケーションの場として、年2回提案会を開催し、新商品の特長だけでなく、開発の背景、対象としている消費者像、ブランド・ビジョンについてもご理解いただくように努めています。また、海外の現地法人や販売代理店のアフターサービスを支援するために、英訳版修理マニュアルを配布し、各地で講習会を定期的に開催しています。

セイコーオプティカルプロダクツ(株)は、眼鏡店さまに向けて、レンズセミナーや特別講演会を開催するほか、情報サイト「SEIKOネットClub」で定期的な商品やサービスに関する情報を発信しています。



社員とともに

セイコーホールディングスグループは、社員一人ひとりが安心して働ける職場環境を実現することで、社会的な責任を果たすと同時に、企業業績の持続的な向上を目指します。

雇用機会均等に努め、社員の能力開発を支援

セイコーホールディングスグループは、男女共同参画の考えに沿って雇用機会均等に努めています。また、社員の能力開発を支援するため、さまざまな階層別研修を実施しています。

女性活躍推進

第5次中期経営計画における施策のひとつである女性の活躍をより推進するため、女性管理職比率を2013年4月の5%台前半から2016年3月までに10%とする数値目標



女性活用プロジェクト

を掲げています。その目標達成に向け、左記のようなさまざまな施策を推進していきます。

女性活躍推進のための主な施策

- ① 女性活躍推進委員会並びにその下部組織となるプロジェクトの設置
- ② 各種講演会の開催やグループイントラネットの女性活躍推進サイトからの情報発信を通じた女性活躍推進のための啓蒙活動をグループ全体で継続的に実施
- ③ 管理職、女性社員を対象とした意識改革、モチベーション向上などを目的とした各種セミナーの開催

能力開発を支援するための研修制度

セイコーホールディングス(株)および関係会社の社員を対象にさまざまな階層別研修を実施し、グループ全体の人材育成に力を注いでいます。また、新たに各階層別にビジネススクールへの派遣を定期的に行い、外部経営幹部候補人材との他流試合を通じて、次世代のグループ幹部候補生の育成を図っています。

2013年度階層別研修

- 5月 メンタルヘルスラインケア研修(対象:前年度管理職昇任者)
- 7月 45歳キャリアプラン研修(対象:1968年生)
- 7月 53歳キャリアデザイン研修(対象:1960年生)
- 9月 新任管理職財務研修(対象:前年度管理職昇任者)
- 10月 新任管理職フォローアップ研修(対象:前年度管理職昇任者)
- 11月 新任管理職研修(対象:管理職昇任者)
- 11月・1月・2月 ライフプラン研修

■新規追加研修

- 1月 若手社員ステップアップ研修(対象:入社8年目)

■外部ビジネススクール派遣(新規)

- 1月~3月 グロービス・エグゼクティブ・スクールへの派遣(対象:グループ各社から推薦の部長・課長層)



若手社員ステップアップ研修

次の世代を担う子どもたちのために

育児休業・育児短時間勤務制度

セイコーホールディングス(株)および関係会社は、「育児介護休業法」に基づき、育児休業・育児短時間勤務制度を取得する社員が仕事と子育てを両立させることができ、社員が働きやすい環境を整備することによって、安心して社員が各々の能力を発揮できる環境づくりに努めています。

次世代育成支援行動計画に基づく人事制度

セイコーホールディングス(株)および関係会社は、改正「次世代育成支援対策推進法」に基づき、次の世代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境をつくるための行動計画を策定し、現在、この行動計画を2015年までに

次世代育成支援行動計画(2015年までに)

- 目標1 計画期間中に育児休業取得状況を次の水準にする。
男性社員・・・計画期間内に1名以上取得すること
女性社員・・・取得率70%以上を維持・継続すること
- 目標2 所定外労働を削減するため、ノー残業デーの徹底を図る。
- 目標3 育児短時間勤務制度の改善を行う。

育児休業・育児短時間勤務制度取得状況(国内主要連結会社)

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
育児休業	52名	70名	77名	66名
育児短時間勤務	108名	107名	101名	99名

安心して働くことのできる職場環境づくり

安全衛生・健康管理

セイコーホールディングス(株)は、労働基準法、労働安全衛生法およびその他の安全衛生に関する法令の趣旨に基づき安全衛生管理規則を制定しています。総括安全衛生管理者、衛生管理者、産業医を選任し、定期健康診断の実施、衛生委員会の設置などにより、従業員の安全と健康の確保に努めています。2008年度からは、労働安全衛生法に基づく「定期健康診断」と、健康保険組合に新たに義務づけられた「特定健康診査・保健指導」に基づき、定期健康診断の検査項目の充実を図り、法定健診より幅広い範囲で実施しています。

メンタルヘルス対策の推進

2000年8月に厚生労働省が発表した「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」にしたがい、2005年度よりメンタルヘルス対策への積極的な取り組みを開始し、グループ社員の心の健康の保持増進に努めています。

社員の貢献に対する評価制度

セイコーホールディングス(株)および関係会社は、業績貢献、職務発明、永年勤続といった社員の貢献に対する評価として、業種・業態に即した表彰制度を展開しています。

メンタルヘルス対策のための主な施策

- ① グループ管理職向け研修の実施
- ② グループ社員向けストレスチェックテストの実施
- ③ 社外24時間健康相談窓口「セイコー健康相談室24」の設置

障がい者雇用

セイコーホールディングスグループは、障がい者雇用を積極的に進めています。特例子会社制度によるグループ適用の認定を受けているセイコーホールディングス(株)および事業会社計9社の2014年6月1日時点の障がい者雇用率は2・17%と法定雇用率を上回る障がい者の方々の雇用しています。



障がい者雇用特例子会社(株)あおぼウオッチサービス

シニア人材の活性化

2013年4月に高齢者雇用安定法が改正され、原則として希望者全員が65歳まで継続雇用されることとなりました。セイコーホールディングスグループでは、これまで培った知識、人脈、専門スキルといった強みを生かした「頼られるベテラン社員」として、シニア人材のマイナスイメージを払拭することで、シニア人材の活性化に取り組んでいます。若手育成など新たな役割の認識やモチベーションの向上などを目的に、年代別のキャリアデザインセミナー、ライフプランセミナーを開催しています。



地域・社会とともに

セイコーホールディングスグループでは、地域・社会の繁栄、地域・社会との共存を目的に、さまざまな活動に取り組んでいます。

スポーツ協賛活動

セイコーは、1964年開催の東京オリンピックで初めてオフィシャルタイマー(公式計時)を務め、世界に先駆けて総合的な電子計時システムを導入しました。現在も、市民ランナーが憧れる東京マラソンや大阪マラソン、世界のトップアスリートが集結するIAAF世界陸上などでオフィシャルタイマーとして大会を支えています。2014年5月には「セイコーゴールドングランプリ陸上2014東京」を特別協賛しました。国内外の有力選手が集い、日本新記録を含む多くの大会記録が生まれました。



セイコーゴールドングランプリ陸上2014東京

また、陸上のみならず、水泳やスピードスケートなどさまざまな競技の大会で、最新の計測技術を駆使した計時支援を行い、世界中で感動の瞬間をサポートしています。

海外での社会貢献活動

セイコーホールディングスグループ各社の海外現地法人は、それぞれの地域に密着したチャリティーやボランティア活動に参加することで、地域活性化への貢献に努めています。また、清掃活動やマンダロープの植樹などの活動も積極的に、環境保全への貢献も世界各地で進めています。

スポーツ大会の支援

オーストラリアでは数々のスポーツ大会を支援しています。チャリティーイベント「シドニーハーフマラソン」

究機関や大学と共同で開発を推進し、また、開発を通じて現地学生の研究指導なども行っています。



シンガポールでの共同技術振興

国内での社会貢献活動

セイコーホールディングスグループ各社は、それぞれの事業の特性を考慮し、地域の方々とのコミュニケーションを深め、環境保全に貢献する活動に取り組んでいます。

セイコーインスツル(株)は、工場見学の受け入れや地域の児童・生徒の就業体験に継続的に協力しています。盛岡セイコー工業(株)は、一般の方々を対象に機械式腕時計の組み立てが体験できる「メカ時計組立体験セミナー」を開催するほか、2008年から「地域とはじめる環境報告会」を開催しています。



盛岡セイコー工業(株)「メカ時計組立体験セミナー」

セイコーNP C(株)は、半導体工場が隣接する日光国立公園の豊かな自然を守るため、工場周辺のごみ拾いや、構内での植樹などを行っています。榎和光は、ホールにおいて陶芸、絵画、書道などの作家の作品催事を中心に文化活動に貢献しています。

また、地域との結びつきを深めて街を盛り上げる目的で、銀座地区の一斉清掃などの地域活動にも積極的に取り組んでいます。セイコータイムシステム(株)は、顔マークで熱中症の注意レベルがひと目でわかる「熱中症予防表示付デジタル時計」により、子どもからお年寄りまで、近年急増している屋内での熱中症予防に貢献しています。



熱中症予防表示付デジタル時計

「時」と「時計」を学ぶ、セイコーミュージアム

セイコーミュージアム(旧セイコー時計資料館)は創業百周年記念事業として1981年に設立されました。日時計から始まった時計の歴史、日本の時計産業の成り立ちと発展の歴史を紹介するとともに、セイコー創業時からのクロック・ウォッチを展示し、時計の進化を理解していただけるよう努めています。

昨年は好評のスポーツ計時コーナーを拡充しました。陸上のスターティングブロックで実際にスタート姿勢をとったり、水泳のタッチパネルに触れてフィニッシュの瞬間を体験したりすることができ、2014年は高級ドレス



セイコーミュージアム企画展「きらめきと精度」

ン)や「City2Surf」イベントで毎年計時サービス無償で行うほか、スポンサーとしての寄付と賞品の時計を提供してサポートしました。

女性の心臓病の啓発と予防への協力

米国では「American Heart Association(アメリカ心臓協会)」が主催する、女性の心臓病の啓発と予防のための活動「Go Red for Women」に2011年から協力しています。女性向け腕時計「Go Red Seiko Tressia」が1本売れるたびに25ドルを寄付し、活動に役立っていたりしています。



「Go Red」Seiko Tressia

ボランティア活動「People to Places」

イギリスでは、病気や障がいや移動が困難な人々を希望の場所に運ぶボランティア活動「People to Places」に協力し、社屋および敷地内で事務局や車両のためのスペースを年間を通して無償で提供したほか、資金集めのくじ引きに商品を提供しています。



イギリス「People to Places」

共同開発による技術振興と研究指導

シンガポールでは、海外研究開発の拠点として国家研究所と共同で、ウオッチブランドクレドール誕生40周年と日本初のクロノグラフ(ストップウォッチ付腕時計)発売50周年にあたることから、年度末まで企画展「きらめきと精度」を開催しています。常設展と併せ、何度行っても楽しめる施設を目指しています。

子どもたちの未来を育み、ともに豊かで美しい「時」を創造してゆくために

セイコーホールディングス(株)は、子どもが社会の仕組みを学べる子どもの街「キッズニア東京」、「キッズニア甲子園」のオフィシャルスポンサーとして、街時計パビリオンを出展しています。このパビリオンは、子どもたちが「からくり時計」のパフォーマーとなつて時を告げることで、人前で演じるプレゼンテーション能力を身につけながら、時間の意味や大切さを学ぶことを目的としています。



街時計パビリオン(キッズニア東京)

また、キッズニア施設外での仕事体験プログラム「Out of Kidzania(アウトオブキッズニア)」を盛岡セイコー工業(株)やセイコーミュージアムで行い、子どもたちに時計の組み立てを実際に体験してもらうことで、モノづくりの素晴らしさや大切さを伝えています。

SEIKO 130 Actionsから広がる“わ”の絆

東日本大震災が発生した2011年は、セイコー創業130年の節目の年にあたり、さまざまな記念イベントを予定していました。しかし、震災の発生によりイベントをすべて取りやめ、震災から3年間で130件以上の被災地支援活動を実施する「SEIKO 130 Actions」を展開しました。

支援活動の「輪」、将来への希望や思いをつなぐ「輪」、一丸となって復興に取り組む調和の「和」など、“わ”の絆を広げていく活動をはじめ、被災地での除染作業、津波で流された写真の洗浄作業、募金活動や日用品の送付など、グループ、個人、有志で行うボランティアをアクションとして一つひとつ積み重ねた結果、活動は3年間で合計138件になりました。

「SEIKO 130 Actions」は2014年3月10日で終了しましたが、今後も、セイコーホールディングスグループは、東日本大震災の被災地を支援する活動を継続して実施していきます。

2014年度は、2015本の“わ”のハチマキに、被災地の皆さんと支援者の思いを隣り合わせに書き込んでいただき、2015年3月11日に予定している“わ”で奏でる東日本応援コンサート2015 in 東京の会場でつなぐ、“わ”の絆プロジェクトに取り組んでいます。

主な取り組み



2014年3月11日、“わ”で奏でる東日本応援コンサートin東京を日本青年館大ホールで開催
●セイコーホールディングス(株)



“わ”で奏でる東日本応援コンサートを東北で開催
●セイコーホールディングス(株)



米国サッカー選手 ドノバン氏によるチャリティーサイン会を米カリフォルニア州で実施
●セイコーウォッチ(株)



「絆」をテーマにしたお客さまからのメッセージを掲出したウィンドウディスプレイ
●(株)和光



岩手県大槌町の小学校へクリスマスプレゼント
●(株)和光 ●セイコーオプティカルプロダクツ(株)
●セイコーNPC(株)



東日本大震災復興支援ライブを主催
●有志 ●セイコーインスツル(株)



津波で流された写真の洗浄作業
●有志 ●セイコーホールディングス(株)



南相馬でのボランティアツアーに参加
●有志 ●セイコーネクステージ(株)



株主・投資家とともに

株主や投資家の皆さまに対し、適時適切な情報開示を行い、誠実で透明性の高いコミュニケーションに努めています。

情報開示の基本方針と方法

セイコーホールディングス(株)は、金融商品取引法および東京証券取引所が定める規則に則った情報の開示を実施するとともに、当社の判断により株主や投資家の皆さまにとって重要かつ有効と思われる情報についてもタイムリーに開示しています。

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示については、同取引所の適時開示情報伝達システム(TDnet)に登録し公開するとともに、当社ウェブサイト上に速やかに掲載しています。

コミュニケーションを積極的に展開

グループの経営状況や事業戦略をご理解いただく

株主総会・年次報告書

毎年6月末に開催する定時株主総会では、株主の方へのわかりやすい説明のため工夫をしています。2014年の株主総会では、事業についてグラフや図表、映像を多く使用して報告しました。また、株主の方



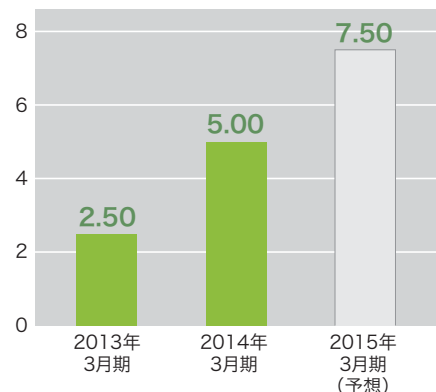
決算説明会

利益配分について

セイコーホールディングス(株)は、株主の皆さまに対する利益配分について、基本政策として安定配当の継続を重視しています。

2014年3月期は、同期の連結業績を勘案し、経営基盤強化のため内部留保の充実に配慮しつつ、安定配当実施の方針に従い、1株当たり5円の配当とさせていただきます。

配当金の推移 (1株当たり/単位:円)



年次報告書

に半期に1回発行している年次報告書・中間報告書についても、シンプルな文章で、色使いやデザインにも工夫を加え、より読みやすい資料となるよう努めています。



環境保全の課題解決に向けて

セイコーホールディングスグループは、地球環境を守ることが人類共通の最重要課題であることを認識し、良き企業市民として環境の保全に配慮して行動しています。

環境理念

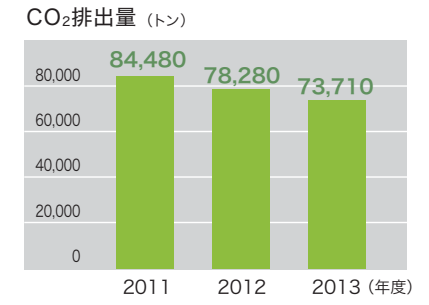
(改定：2013年6月/制定：1998年4月)
セイコーは、地球環境を守ることが人類共通の最重要課題であることを認識し、良き企業市民として環境の保全に配慮して行動します。

環境推進体制

セイコーホールディングスグループ各社の環境担当者が一堂に会し、方針を決める場が「環境連絡会」です。環境連絡会の「製造分科会」では、急速に変わっていく国内外の法規制やガイドラインなどに関する情報共

地球温暖化防止

セイコーホールディングスグループは、環境会計の導入やCO₂排出量の公表など環境の見える化の推進により、商品の開発・製造・販売・サービスなどさまざまなプロセスにおいて、地球温暖化ガスの低減に取り組んでいます。



環境に配慮した商品

セイコーホールディングスグループ各社は、環境に配慮した数多くの商品を市場に送り出しています。また、お客さまの製品の環境性能を向上できる製品、そして環境の改善に積極的に貢献する製品やサービスの創出に注力しています。

セイコーウォッチ(株)では、機械式時計や電池交換の不要な自動巻発電式時計、ソーラー発電式時計といった環境負荷の少ないウォッチの売上高に占める割合が2/3を占めるにいたっています。また、世界初のGPSソーラーウォッチ「セイコーアストロン」は究極のエコウォッチでもあります。

環境会計

セイコーホールディングスグループは、環境保全活動のコストと効果を連結ベースで集計しています。2013年度の環境保全コストは、設備投資額が223・1百万円、費用額が1922・2百万円でした。その結果、CO₂排出量削減4571・5トン、産業廃棄物435・5トンといった量的な効果のほか、経済効果として582・1百万円の費用削減を達成できました。

セイコークロック(株)では、ソーラークロックをはじめ、グリーン購入法適合商品を中心に豊富なラインアップを揃えています。

セイコーインスツル(株)は、「グリーンプロセス」「グリーンプロダクツ」「グリーンライフ」を基本コンセプトとするグリーンプランを策定し、環境経営を実践しています。2001年に自社基準による「SIIグリーン商品ラベル」制度を導入、2006年に「SIIハイグレードグリーン商品ラベル」制度を導入し、製品の環境性能を確実に向上させてきました。さらに、「自社の製品が組み込まれることでお客さまの製品の環境性能を向上できる」、また「人々が生活する環境の保全に貢献できる」という考え方を「グリーンプロダクツPlus」と名づけ、グリーン商品基準の評価項目に取り入れて運用しています。2012年度より、新たにソフトウェア・サービスにおいてもグリーン商品ラベル制度の運用を開始しました。

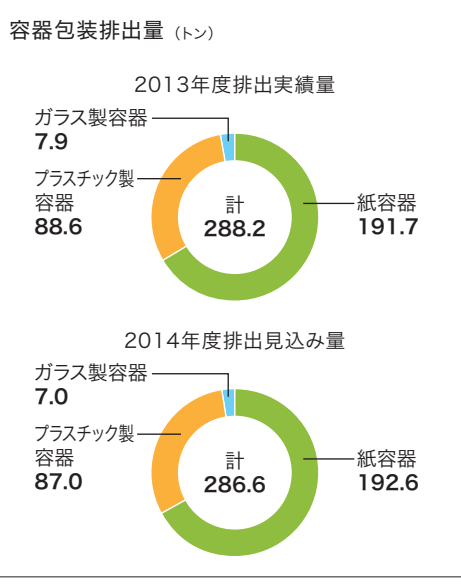
SIIグリーン商品の例



循環型社会への貢献

セイコーホールディングスグループ各社は、製造事業所内での活動はもとより、商品包装材のリサイクルや省資源化に取り組む、限りある資源を大切にしています。

セイコーサービスセンター(株)では、ボタン型電池を販売店から回収し、専門業者に分解させ、再資源化しています。セイコーインスツル(株)など事業会社3社は、小形充電池のリサイクル推進に取り組んでいます。㈱和光、セイコーウォッチ(株)をはじめ、全事業会社は、梱包材料の減量化、分別・リサイクルを促進する商品表示に取り組むほか、排出量に応じ再資源化費用を負担しています。



環境会計

環境保全コスト

集計範囲：セイコーウォッチ(株)、セイコーインスツル(株)、セイコープレジジョン(株)、セイコーNPC(株)、セイコーソリューションズ(株)、セイコークロック(株)、(株)和光、セイコータイムシステム(株)、セイコーオプティカルプロダクツ(株)、セイコーホールディングス(株) (事業会社9社、持株会社1社)
対象期間：2013年4月1日～2014年3月31日
(単位：百万円)

分類	内容	投資額 ^{※1}		費用額 ^{※2}	
		2013年度	2013年度	2013年度	2013年度
1.事業エリア内コスト(内訳)	公害防止コスト 地球温暖化防止、オゾン層保護などに関すること 地球環境保全コスト 資源循環コスト	216.1 (144.8)	1,407.7 (490.1)	(70.9) (526.2)	(0.4) (391.4)
2.上流下流コスト	環境配慮型製品の製造 製品・容器包装等のリサイクルなど	0.0 1.6	2.0 70.3		
3.管理活動コスト	環境教育、環境情報の開示 環境マネジメントシステムの運用など	0.0 5.4	16.3 304.8		
4.研究開発コスト	環境に関する研究開発など	0.0	115.2		
5.社会活動コスト	環境保護団体、地域への支援など	0.0	5.9		
6.環境損傷対応コスト	土壌汚染修復費など	0.0	0.0		
合計		223.1	1,922.2		

※1 投資額は2013年度単年のみの投資額です。全額を環境保全コストと判断できない場合は按分集計を行っています。
※2 費用額には2012年以前の減価償却費を含んでいます。(投資額は5年、施設は10年で均等に分割して算出)
全額を環境保全コストと判断できない場合は按分集計を行っています。

環境保全効果

環境負荷	削減量(前年比)
CO ₂	4,571.5トン
用水	85.6千m ³
紙資源	15.1トン
産業廃棄物	435.5トン
一般廃棄物	158.2トン
新規材料購入抑制量(単年度効果)	350.0トン

環境活動に伴う経済効果

実質効果の内容	実質効果(前年比)
省エネルギーによる費用の削減	-163.2
省資源による費用の削減(水)	15.0
省資源による費用の削減(紙)	2.1
廃棄物処理費用の削減	18.1
有価物など売却による収入(単年度効果)	197.6
新規材料購入抑制金額(単年度効果)	289.8
合計	359.4
環境リスク回避効果試算(単年度効果)	試算額
大気、水質汚染などによる操業停止回避	181.1
不法投棄などによる罰則の回避・その他	41.7
合計	222.8
経済効果総合計	582.1

SEIKO

セイコーウォッチ株式会社
セイコーインスツル株式会社
セイコープレジジョン株式会社
セイコーNPC株式会社
セイコーソリューションズ株式会社
セイコークロック株式会社
株式会社 和光
セイコータイムシステム株式会社
セイコーオプティカルプロダクツ株式会社
セイコーホールディングス株式会社

[発行元およびお問い合わせ先]

セイコーホールディングス(株) コーポレートコミュニケーション部
〒105-8505 東京都港区虎ノ門2丁目8-10

Tel: 03-6739-3111(代表)

<http://www.seiko.co.jp/>

E-mail: prdeptj@seiko.co.jp

[発行] 2014年9月



この印刷物は責任ある管理された森林からの木材を含むFSC®認証紙を使用しております。